



双陽社 発行

法隆寺 落日



法隆寺の落日を撮りたいと思っていたが、なかなかチャンスが無かった。この年12月の末、空を見ると、夕焼けが出そうだったので急いで法隆寺に向った。道端にはカメラマンが並んでいるため、何も訳を知らないハイキングの人達は「何かあったんですか」と興味深そうに聞いて通って行った。超望遠レンズを取り付け、カメラが揺れないように錘をつけて、日暮れを待った。すると12月とは思えない程の夕焼けとなり、日の入りから日没まで夢中でシャッターを切り続けた。この写真がその中の一枚である

(マーラー／交響曲第3番 第6楽章)

写真集『一期一会』ご案内

関西の歴史的風景を代表する、大和・洛北の最も美しい瞬間がとらえられています。地元のカメラマンが30年間撮りためたフィルムの中から、精選された極上の瞬間をまとめたものです。また、別冊の解説には、著者の五感を通して、それぞれの写真の風景からイメージされるクラシック音楽の楽章が明記されています。クラシック音楽の好きな皆様にとっても、興味のつきない一冊となっています。

過去、クラシック音楽の世界では、美しい絵画から得られたイメージが、豊かな音楽曲を生み出した例がみられます。そんな意味では、深いイメージを内包する歴史的な風景写真から、心の中に古今の名曲が鳴り出すのはそれほど奇異なことではないのかもしれませんが。

じっくりと写真を味わいながら豊穣のひとときをお楽しみください。

※販売価格 6300円(税込み) 写真集+別冊解説1セット



別冊解説

室生寺 よろい坂 梅雨



石楠花や紅葉の写真は多いが、花のない時の写真を撮って見たかった。梅雨の中、深緑のよろい坂から金堂を見上げると、仏さまを包むかのように雨に濡れた木立が枝を延ばして奥深さを感じる。モノクロ写真に近い雰囲気が感じられる。その階段を上って行くと、五重塔の横に苔むした石仏が梅雨に濡れて、私達を見守っているように佇んでいる。

(バッハ／無伴奏チェロ組曲第1番プレリュード)

仏隆寺 桜



仏隆寺桜は、ヤマザクラとエドヒガンの雑種であるモチヅキサクラの一種と言われている。学術上も貴重で、樹齢900年といわれている奈良県指定の天然記念樹である。根囲7.7m、樹高16m、下から197段の石段が仏隆寺まで延びている。行き方は、榛原より曾禰行きバスで高井下車、徒歩40分くらいかかる。夕映えの中で、一斉に散り急ぐ桜の中に立って日の光と桜の花びらを浴びていると、この世のこととは思われない程の幸福感にひたれる。モーツァルト／ピアノ協奏曲の第21番第2楽章アンダンテが聞こえてくるようである。こんな美しい風景があるとは…。数年前、落雷で上の枝が折れたので、この写真の姿がもう見られないのは残念だ。9月には、石段の両側に彼岸花が一斉に咲く。この時期が又美しい。

(モーツァルト／ピアノ協奏曲第21番 第2楽章アンダンテ)